

## 4 中期財政計画の検証

### ☆ 目標1：普通会計で市債残高120億円以上圧縮

達成見込

【H26 決算比・3 か年間の合計】

市債発行額の抑制と元金ベースのプライマリーバランスの黒字化を図ることにより、将来の負担となる負債を可能な限り抑え、持続可能な財政運営を実現する。

#### 市債残高（普通会計）

- ・ 27 年度末見込額 1,939 億 2,000 万円（対計画値 15 億 9,400 万円の減）  
（H27 末計画値 1,955 億 1,400 万円）

※ 普通会計 … 一般会計・住宅特会・公園墓地特会・用地取得特会・母子父子寡婦特会・  
公債管理特会（普通会計分のみ）

※ 市債残高は、旧宮崎公立大学事務組合債の承継分（H27 末残高見込 6 億 3,200 万円）を含む。

#### <参 考>

- ・ 市債発行額  
普通会計 145 億 3,100 万円（一般会計 143 億 2,500 万円）
- ・ 元金償還額  
普通会計 198 億 5,600 万円（一般会計 191 億 6,700 万円）

### ☆ 目標2：財政5基金残高200億円以上の確保

達成見込

経費を抑制するとともに、財源の確保に努めることで、基金の取崩しを最低限に抑え、自前の財源確保による財政の自立性及び緊急時への対応を図る。

#### 財政5基金残高

- ・ 27 年度末見込額 261 億 6,100 万円（対計画値 4 億 9,600 万円の増）  
（H27 末計画値 256 億 6,500 万円）

※ 財政5基金 … 財政調整基金・財源対策債等償還基金・公共施設整備等基金・地域振興基金・  
土地開発基金

<参 考>

財政対策基金取崩額

- ・ H27 予算額 18 億円 (対予定額 10 億円の増)
- ・ H27 予定額 8 億円
- (取崩の内容) ・ 財政調整基金 8 億円 (※退職手当分 11 億 8,800 万円を除く)
- ・ 公共施設整備等基金 10 億円

☆ 目標 3 : 歳入歳出改革による一般財源の確保・削減 (1.3 億円)  
を目指す

(一般財源ベース) 【H26 予算比 : 3 か年の合計】

達成

普通交付税の合併算定替え縮減に対応するため、歳入歳出一体となった改革を行う。

※ 歳入歳出改革により、今後、確保・削減できる一般財源額の合計

- ・ 27 年度確保・削減額 1 億 3,800 万円 (対計画値 3,800 万円の増)

(H27 計画値 1 億円)

歳入改革 (3,600 万円)

- ・ 広告放映モニターの設置による広告料の増 約 100 万円の増
- ・ 学校体育施設開放事業の有料化による増 約 800 万円の増
- ・ 家庭ごみ処理手数料の有料化 (清武分) による増 約 2,700 万円の増

歳出改革 (1 億 200 万円)

- ・ 防犯灯 LED 化に伴う電気料の減 約 160 万円の減
- ・ 競争原理による低利な借入に伴う減 約 1,230 万円の減
- ・ 業務の民間委託による減 約 5,370 万円の減
- ・ 事業評価を活用した事業廃止に伴う減 約 740 万円の減
- ・ 事業評価を活用した事業内容見直しに伴う減 約 2,700 万円の減